



移植後のがん検診のススメ

どんな検診を「どこで」「いつ」受ければいいのか？



二次がんについて

- ▶ 造血細胞移植後には、**二次がん**といって、移植をした病気以外に、新たに他のがんを発症するリスクがあることがわかってきました。
抗がん剤の影響や、放射線治療、免疫抑制療法、慢性移植片対宿主病(GvHD)等が一因になるといわれています。治療を受けていない方と受けた方を比較すると、リスクは全体の2~3倍に上昇します。
移植後早期より、移植後5年(全体の2.5%)、10年(全体の5.9%)と経過年数が増えるにつれて発症するため、長期間の注意が必要です。

全員が 二次がん を発症するわけではありません。
しかし！！ 長期的に注意していく必要があります。
* 自己管理が大切です *

将来



- ▶ また、治療後の二次がんの発症が多い部位などもわかってきました。二次がんの発症リスクがあることを認識し、検診を受け、早期発見・治療につなげることが大切です。
がん治療は日進月歩で進んでいます。早期に発見し、早期に治療することで治癒が期待できます。

二次がんの予防と早期発見のために！

発症しやすい部位

移植後の二次がんは、口腔がんと食道がんが多く報告されています。
また、慢性GvHDがある(あった)場合には、二次がんの発症リスクが高く、口腔や消化管のGvHDがあった場合には、特に注意が必要です。

一般人口とのリスクの比較		
	臓器名	標準化罹患比
1位	口腔/咽頭	15.7
2位	食道	8.5
3位	皮膚	7.2



二次がんの予防と早期発見のために！

具体的な検査

部位	検査内容
口腔	歯科検診
食道/胃	胃カメラ
大腸	便潜血(陽性時大腸カメラ)
乳房	触診、超音波検査、マンモグラフィー
子宮	内診、頸部細胞診
前立腺	血液検査(PSA値の測定)
皮膚	皮膚科検診(皮膚生検)

市区町村からくる検診を積極的に活用しましょう。また、会社の検診も大切です。毎年、移植をした月に、がん検診を受けていくことも一つの工夫ですね。

二次がんの予防と早期発見のために！

日々の生活での注意

▶ 積極的なセルフチェック！

→ 口腔内や皮膚のイボ・発赤、乳房、睾丸などは、セルフチェックが推奨されています。「なんか変だな？」「いつもと違うな？」「違和感??」など、体の変化に気が付いたときには、忘れずに主治医へ伝え、検査を受けましょう。

▶ 慢性GvHDがある場合は要注意！

→ 歯磨きの際に痛みを伴ったり、隆起している個所はありませんか？
食事の際に喉にモノがつまる感覚はありませんか？
日々の生活の中で、気が付くことが多いです。主治医へ伝えましょう。
積極的に検査を受けることをお勧めします。

→ 皮膚のお手入れも大切です。紫外線や乾燥などの皮膚への刺激を避けることで、予防になります。日焼け止めをまめに塗り直すことや、日々の保湿ケアを継続して行うことが必要です。

▶ 禁煙（受動喫煙も含む）

→ 移植後多くの方が禁煙を継続できていますが、中には再度喫煙している方もいらっしゃいます。肺がんのリスクを高めますので、禁煙外来をご案内することも可能です。また、受動喫煙にも注意が必要ですが、同居されるご家族の協力が不可欠です。



参考資料

ご自身で情報収集をするツールです。各HPを参照ください。

* 日本造血細胞移植学会ホームページ
<https://www.jshct.com/>

* 国立がん研究センター がん情報サービス ホームページ
→ 病気に関する基本的な情報がまとまっています。
<https://ganjoho.jp/public/index.html>



移植後のがん検診のススメ

どんな検診を「どこで」「いつ」受ければいいのか？

- ★病気の状態や治療方法などは個々人で異なります
- ★治療後の生活スタイルも100人100様です

せっかく移植後に元気になったのに、違うがんになることがあるんだ…と
気持ちが落ち込んでしまうかもしれません。
ただ、早期に発見できれば、治癒も期待できます！
日常生活は移植前に戻っても、移植をした事実を変えることはできません。
その中で、気を付けるべきことがたくさんわかってきました。
早期発見、早期治療もその一つです。
定期的な検診を行って、新しい生活スタイルを獲得していきましょう！

いつでもご相談ください。
いろいろな山と一緒に乗りこえていきましょう！！

